

科目名	公衆衛生看護学課題研究Ⅰ Special ResearchⅠ in Public Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408) 中北 裕子 (404)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	4 (60)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
											遠隔授業	一部
科目 目的	臨地指導実習Ⅰなどから生じた臨地教育に関する疑問について文献等を抄読し、事例研究や事例報告としてまとめる研究課題を明確にする。中間審査受審に向け、研究課題に沿った研究計画を立案し、研究計画書を作成する。											
ディプロ マ・ホリ ン (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。										
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
到達 目標	1. 公衆衛生看護学領域における臨地教育に関する研究疑問に関して、文献検討を行うことができる。 2. 自己の研究課題を明確化することができる。 3. 研究課題を解明するために適切な研究方法を検討・選択し、研究計画書を作成することができる。											
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション (50%)、研究計画 (40%)、取組み状況 (10%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時提示する。											
受講者への メッセージ	臨地教育実習Ⅰで得た体験をふまえ研究テーマを設定してください。											
備考	1年次後期に中間審査を受審することが望ましい。											
学 習 内 容												
【到達目標 1 について】 ・これまでの演習や実習における疑問や問題意識をまとめ、研究疑問を明確にする。 ・研究疑問について文献検索および文献検討を行い、結果をまとめ発表する。 【到達目標 2 について】 ・文献検討の結果をふまえて、自己の研究課題について、研究背景・研究目的を明確にし発表する。 ・研究課題を探求するために適切な研究手法について学ぶ。 【到達目標 3 について】 ・研究目的を達成するための研究方法を検討・選択し、研究背景から研究方法までを研究計画書としてまとめる。 ・研究倫理審査の受審も見据えて倫理的配慮についても検討し、必要に応じて研究計画書に反映させる。 ・研究計画書は、中間審査申請用の様式を用いる。												